

小松市重点目標

未来の創り手となるために必要な資質・能力を確実に育成する学校

授業の質的改革 →資質・能力を確実に身に付ける児童生徒の育成

- ①児童生徒が 主体的・対話的に学習したくなる授業
- ②児童生徒が 自己の思考を深め、自己表現したくなる授業
- ③児童生徒が 自己の学習をふりかえり、学びを実感できる授業

組織的な体制・環境づくり →児童生徒に資質・能力を身に付けさせる教員の育成

- ④教職員が 目標や課題を共有し自己の役割に責任を持ち、課題の解決に取り組む
- ⑤教職員が 授業力を高める。切磋琢磨し学校研究に取り組む
- ⑥教職員が 児童生徒が主体的に活動できるように環境を整える

令和6年度 学校評価重点計画

小松市立木場小学校
学校長 小山 貴子

目指す児童生徒の姿

よく考え工夫する子 (思索)	たくましい心と体の子 (剛健)	思いやりの心で協力し合う子 (誠実)
<ul style="list-style-type: none">○ 主体的に学ぶ力○ 学びを生かす力○ 表現する力	<ul style="list-style-type: none">○ 挑戦する意欲○ 最後までやり抜く力○ 健康を管理する力	<ul style="list-style-type: none">○ 対話する力○ 協働する力○ 自他のよさを認める力

(1) 学校の課題

- ・素直で真面目に取り組む児童が多く、決められた活動に自主的に取り組む。
- ・自己肯定感や自ら進んで活動する意欲や自信の低さに課題がある。
- ・地域の豊かな環境や人材を生かした学習活動の工夫が行える。
- ・人間関係が狭く固定化する。また家庭環境が不安定で配慮を要する児童が複数いる。

(2) 具体的な方策と検証

具体的な方策	検証
カリキュラムマップを活用したつながりのある深い学び	研究授業での整理会シートと改善指導案及び児童アンケート
児童主体の活動、縦割り活動や異学年交流	児童会・学級を基盤とした取組のふり返り
睡眠や姿勢を中心とした健康管理、1校1プラン	定期的なチェックや運動の習慣化、記録の分析
地域教材の開発、他校との交流、地域への発信	定期的な評価による取組の確認